

平成28年10月の観光客の動向

1 概要

平成28年10月における調査対象ホテル・旅館78施設の宿泊客数（宿泊延べ人員）は、合計287,770人で、前年同月比0.5%減となった。このうち外国人は、26,881人で前年同月比16.0%増となった。

平成28年10月における調査対象観光施設・ドライブイン25施設の入場・来場者数（延べ人員）は、合計489,431人で、前年同月比5.2%減となった。

(単位: 人、%)

	宿泊客数 入場・来場者数	前年同月比	動向
全体	287,770	▲ 0.5	<ul style="list-style-type: none"> ・関東、関西、中国地方、台湾、韓国からの宿泊客が減少 ・九州、中国、香港からの宿泊客は増加 ・個人客は増加したものの、団体客(一般団体・企画ツアー、大会参加団体客)に減少がみられた。
外国人客	26,881	+16.0	<ul style="list-style-type: none"> ・香港はツアー客に加え、LCCが就航したことによる個人客の増加で前年を大きく上回った。 ・中国は個人客や団体客が伸び、前年を大きく上回った。 ・台湾はツアー客が減少、韓国は前年釜山からのチャーター便が運航していた反動減などにより前年を大きく下回った。
主要観光施設 ドライブイン	489,431	▲ 5.2	<ul style="list-style-type: none"> ・台風による被害のため休園・閉館する施設があり、落ち込んだ。 ・台風の影響もあり、前年と比べて降水量が多く来場者が減少した。 ・団体客の減少により、一部施設で来場者が落ち込んだ。

2 主な地区別の動向

(単位: 人、%)

	宿泊客数	前年同月比	動向
鹿児島地区	125,646	+0.5	<ul style="list-style-type: none"> ・九州・中国・香港からの宿泊客が増加 ・関東、関西からの宿泊客が減少 ・個人客、一般団体・企画ツアー客が増加 ・大会参加の団体客、修学旅行の団体客が減少
指宿地区	45,094	▲ 0.8	<ul style="list-style-type: none"> ・関西、台湾からの宿泊客が減少 ・九州、香港からの宿泊客が増加 ・一般団体・企画ツアー客の団体客が減少 ・個人客が増加
霧島地区	54,566	▲ 8.9	<ul style="list-style-type: none"> ・関西・九州・韓国からの宿泊客が減少 ・香港からの宿泊客が増加 ・個人客、一般団体・企画ツアー客、修学旅行の団体客が減少
北薩地区	12,761	+4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・中部、関西、九州からの宿泊客が増加 ・東北、北陸からの宿泊客が減少 ・個人客、一般団体・企画ツアー客が増加 ・大会参加の団体客、修学旅行の団体客が減少
大隅地区	6,133	+4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・九州からの宿泊客が増加 ・中部、中国地方からの宿泊客が減少 ・個人客、一般団体客が増加
種子島地区	5,071	+10.0	<ul style="list-style-type: none"> ・関東・北陸・中国地方からの宿泊客が増加 ・九州からの宿泊客が減少 ・ロケット打ち上げにより個人、団体ともに増加
屋久島地区	13,276	+17.9	<ul style="list-style-type: none"> ・関東・中部・関西からの宿泊客が増加 ・中国地方、九州からの宿泊客が減少 ・個人客、団体客ともに増加
奄美地区	22,211	+1.6	<ul style="list-style-type: none"> ・中部からの宿泊客が増加 ・関東、沖縄からの宿泊客が減少 ・一般団体・企画ツアー客、大会参加の団体客、修学旅行の団体客が増加 ・個人客が減少
その他地区	3,012	▲ 0.5	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎・沖縄からの宿泊客が減少 ・鹿児島県内からの宿泊客が増加 ・一般団体・企画ツアー客、大会参加の団体客が減少 ・個人客が増加

【「宿泊施設」「観光施設・ドライブイン」全体の動向】

宿泊施設と観光施設・ドライブイン 総合

平成28年10月

(単位:人、%)

	対象施設	宿泊者数 入場・来場者数	前年同月	前年比	参考: 27年前年比 (27/26)
主要宿泊施設	78	287,770	289,208	▲ 0.5	+2.4
主要観光施設 ドライブイン	25	489,431	516,098	▲ 5.2	+14.7

【 主要宿泊施設の宿泊者 】

宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成28年10月	前年同月	前年比	参考: 27年前年比 (27/26)
合計	287,770	289,208	▲ 0.5	+2.4
鹿児島地区	125,646	124,988	+0.5	+7.7
指宿地区	45,094	45,462	▲ 0.8	▲ 6.1
霧島地区	54,566	59,914	▲ 8.9	+1.0
北薩地区	12,761	12,227	+4.4	+2.5
大隅地区	6,133	5,869	+4.5	+7.7
種子島地区	5,071	4,609	+10.0	▲ 21.0
屋久島地区	13,276	11,256	+17.9	▲ 21.8
奄美地区	22,211	21,857	+1.6	+12.6
その他	3,012	3,026	▲ 0.5	+24.9

【 観光施設・ドライブイン 】

入場・来場者数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成28年10月	前年同月	前年比	参考: 27年前年比 (27/26)
合計	489,431	516,098	▲ 5.2	+14.7
観光施設	423,761	444,159	▲ 4.6	+17.9
ドライブイン	65,670	71,939	▲ 8.7	▲ 0.9

【 発地別宿泊客数の動向 】

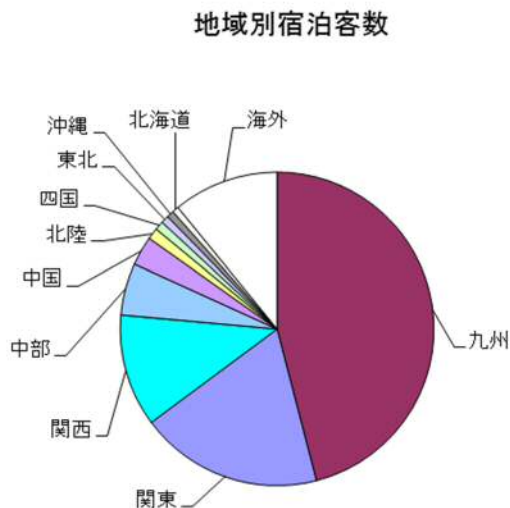
1 地域別

宿泊客数を地域別にみると、九州 113,383 人（構成比 46.0%）が約 4 割を占め最も多く、次いで関東 46,518 人（同 18.9%）、関西 28,649 人（同 11.6%）の順となっている。

地域別宿泊客数（延べ人数）

（単位：人、%）

	平成28年10月（構成比）	前年同月	前年比
合計	246,677（100.0）	250,001	▲ 1.3
北海道	1,650（0.7）	2,592	▲ 36.3
東北	1,970（0.8）	2,979	▲ 33.9
関東	46,518（18.9）	48,799	▲ 4.7
北陸	2,897（1.2）	3,542	▲ 18.2
中部	13,223（5.4）	12,369	+6.9
関西	28,649（11.6）	31,594	▲ 9.3
中国	7,442（3.0）	9,613	▲ 22.6
四国	2,252（0.9）	2,242	+0.4
九州	113,383（46.0）	111,060	+2.1
沖縄	1,812（0.7）	2,039	▲ 11.1
海外	26,881（10.9）	23,172	+16.0



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない

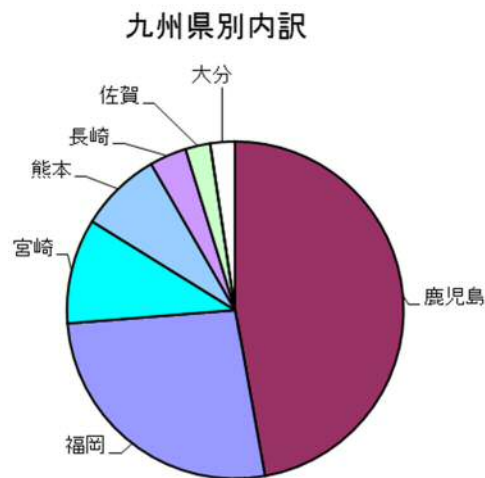
2 九州県別内訳

九州からの宿泊客数を県別にみると、県内 53,499 人（構成比 47.2%）が最も多く、次いで福岡 30,106 人（同 26.6%）、宮崎 11,428 人（同 10.1%）が続いている。

九州県別内訳

（単位：人、%）

	平成28年10月（構成比）	前年同月	前年比
合計	113,383（100.0）	111,060	+2.1
福岡	30,106（26.6）	29,284	+2.8
佐賀	2,704（2.4）	2,592	+4.3
長崎	4,034（3.6）	4,320	▲ 6.6
熊本	8,917（7.9）	8,639	+3.2
大分	2,695（2.4）	3,286	▲ 18.0
宮崎	11,428（10.1）	10,878	+5.1
鹿児島	53,499（47.2）	52,061	+2.8



3 国・地域別内訳

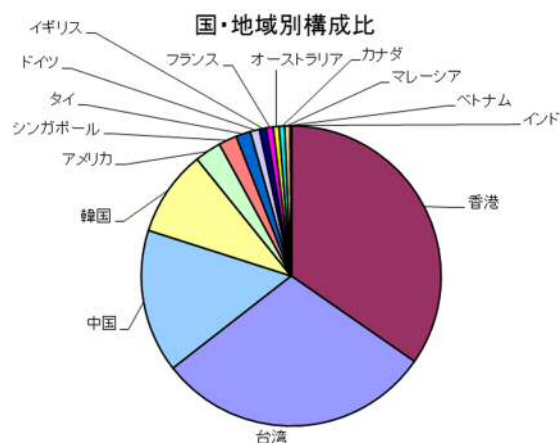
海外からの宿泊客のうち、アジア地域別にみると、香港 8,819 人（構成比 32.9%）が最も多く、台湾 7,596 人（同 28.4%）、中国 3,931 人（同 14.7%）、韓国 2,363 人（同 8.8%）、シンガポール 501 人（同 1.9%）などの順となっている。香港はツアー客に加え、LCC が就航したことによる個人客の増加で前年を大きく上回った。中国は個人客や団体客が伸び、前年を大きく上回った。一方、台湾は熊本地震の影響、韓国は前年釜山からのチャーター便が運航していた反動減などにより、前年を大きく下回った。

また、アジア以外の地域は、アメリカ 728 人（同 2.7%）、ドイツ 250 人（同 0.9%）、イギリス 192 人（同 0.7%）などとなった。

国・地域別内訳

（単位：人、%）

	平成28年10月（構成比）	前年同月	前年比
合計	26,776（100.0）	23,133	+15.7
香港	8,819（32.9）	4,455	+98.0
台湾	7,596（28.4）	8,589	▲ 11.6
中国	3,931（14.7）	2,614	+50.4
韓国	2,363（8.8）	3,788	▲ 37.6
アメリカ	728（2.7）	492	+48.0
シンガポール	501（1.9）	702	▲ 28.6
タイ	405（1.5）	174	+132.8
ドイツ	250（0.9）	202	+23.8
イギリス	192（0.7）	173	+11.0
フランス	190（0.7）	230	▲ 17.4
オーストラリア	159（0.6）	191	▲ 16.8
カナダ	153（0.6）	125	+22.4
マレーシア	152（0.6）	218	▲ 30.3
ベトナム	11（0.0）	13	▲ 15.4
インド	9（0.0）	13	▲ 30.8
その他	1,317（4.9）	1,154	+14.1



注：国・地域別回答があった先の集計のため、地域別宿泊客数とは一致しない

【形態別宿泊客数の動向】

宿泊客を形態別にみると、個人客（含む家族・小グループ）が 170,820 人（構成比 72.9%）、団体客（15名以上）は 63,648 人（同 27.1%）となった。

形態別宿泊客数

（単位：人、%）

	平成28年10月（構成比）	前年同月	前年比
合計	234,468（100.0）	237,667	▲ 1.3
個人客（含む家族・小グループ）	170,820（72.9）	167,275	+2.1
団体客（15名以上）	63,648（27.1）	70,392	▲ 9.6
団体小計	63,648（100.0）	70,392	▲ 9.6
一般団体・企画商品	47,949（75.3）	50,817	▲ 5.6
大会	1,793（2.8）	4,174	▲ 57.0
修学旅行	13,906（21.8）	15,401	▲ 9.7

注：回答のあった先のみを集計のため、全体合計とは一致しない

【 宿泊単価・売上金額・購入単価の動向 】

1 宿泊単価

宿泊単価のうち、客室単価は、前年同月と比較して「高い」と答えた施設は 23.9%、「前年並み」と答えた施設は 71.6%、「低い」と答えた施設は 4.5%となった。

付帯消費額については、前年同月比で「高い」は 10.6%、「前年並み」が 78.8%、「低い」が 10.6%となった。

宿泊単価

平成28年10月 (単位:%)

	客室単価	付帯消費額
合 計	100.0	100.0
高 い	23.9	10.6
前年並み	71.6	78.8
低 い	4.5	10.6

2 売店の売上金額・購入単価

観光施設・ドライブインの売店の売上金額については、前年同月と比較して「増加」と答えた施設は 25.0%、「前年並み」は 20.0%、「減少」は 55.0%となった。

また、1人当たりの購入単価については、前年同月比で「増加」と答えた施設は 20.0%、「前年並み」は 40.0%、「減少」は 40.0%となった。

売上金額・購入単価

平成28年10月 (単位:%)

	売上金額	購入単価
合 計	100.0	100.0
増 加	25.0	20.0
前年並み	20.0	40.0
減 少	55.0	40.0

調査の概要

本県の最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、観光関係者のビジネスや効果的な事業展開などにも広く活用していただくため、県内主要宿泊施設、観光施設等への宿泊・入り込み状況について、アンケート調査を実施いたしました。

・調査期間 平成 28 年 10 月 1 日～10 月 31 日

・調査項目

ホテル・旅館	<ul style="list-style-type: none"> ① ホテル・旅館の全宿泊者数（延べ人数） ② 方面別宿泊者数（国内地域、海外） ③ 海外宿泊者数（国・地域別内訳） ④ 宿泊単価（客室単価、付帯消費額） <p>対前年比「高い」、「昨年並み」、「低い」から選択</p>
観光施設・ ドライブイン	<ul style="list-style-type: none"> ① 入場者来場者数 ② 売店売上金額（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択） ③ 一人当たり購入金額（対前年比「上昇」、「昨年並み」、「下落」から選択）

・調査対象

(1) ホテル・旅館	78 施設	鹿児島地区	19
		指宿地区	10
		霧島地区	12
		種子島地区	5
		屋久島地区	5
		奄美地区	9
		大隅地区	7
		北薩地区	7
		その他地区	4
(2) 観光施設	21 施設		
(3) ドライブイン	4 施設		